

東京SP研究会のSP活動のお誘い 2011年秋冬

あなたも一緒にいかがですか？

東京SP研究会 代表 佐伯晴子

患者と医療分野各職種とのコミュニケーションが不十分であるのは患者としては一番残念なことです。これは現場が忙しいだけでなく、医療分野の人材教育においてコミュニケーション能力が重要視されていなかったことが原因かもしれません。そこで、医療分野の学生に対するコミュニケーション教育が始まりました。その後、OSCE（オスキーと読みます・客観的臨床能力試験）という医学部歯学部薬学部4～5年学年向けの試験が全国で導入され（共用試験）、また、看護、リハビリ、それ以外の医療職全体でも患者さんとのコミュニケーションを改善するための演習が増えています。その練習の相手をつとめる患者役が模擬患者（Simulated Patient または Standardized Patient を略してSP）です。当会は1995年の設立以来、首都圏の医学部を中心に多くの医療者教育の現場で、患者の気持ちを伝えてきました。OSCEが主に行われるのは12月から3月です。2011年冬から2012年春まではスケジュールが密で、4月初旬は研修医対象の実習が続きます。当会の中心的な活動である医学部上級生や医学生以外の多様な医療職種の学生や現役の医療者を対象とした実習や研修は5月から11月まで幅広く展開されますので、養成の基礎コース終了後は見学を含めて少しずつ参加いただければと思います。

基礎コース期間 3か月程度

今回の基礎コースは今後も東京SP研究会のSPとして活動していただくためのものです。

コースの受講にあたり、当会活動の参考文献として下記をご購入の上ご一読下さい。

- ・医学書院『話せる医療者』 佐伯晴子・日下隼人著 2000年 ISBN4-260-33102-7
- ・医学書院『あなたの患者になりたい』 佐伯晴子著 2002年 ISBN4-260-12711-X

コース終了後は当会SPとして定例会（原則第2・4水曜日午後）に出席いただき、練習や打合せを行いません。実際のSP活動には、当会規定の謝礼をお支払いいたします。

医学部・歯学部・薬学部などの学生実習（授業）は平日昼間の時間帯ですが、医学部の試験OSCEは、週末（土曜または日曜）の朝から実施されることが多く、早朝にご自宅を出発していただく必要があります。また、場所によっては前日宿泊の必要もあります。現役医療者の研修会は平日夜か土日曜の開催が一般的です。当会ではできるだけご家庭の事情を勘案いたしますが、繁忙期にはご協力をお願いすることがあるかもしれませんので、あらかじめご了承をお願い致します。

現在の会員は約30名です。女性（40歳代、50歳代、60歳代）男性（60歳代、70歳代）患者の立場で医療とコミュニケーションに関心をお持ちの方のご参加を募ります。

お申し込み、お問い合わせ：FAXのみ03-5985-0506 東京SP研究会事務局

または、info@tokyosp-kenkyukai.com

2011年度秋冬 東京SP研究会 SP基礎コース日程 申し込み用紙も兼ねています

スケジュールでご都合のつかない場合はご相談に応じます。

第1回 10月10日(月祝) 15:00~16:30

コース概要説明&個別相談 および ①コミュニケーションと医療面接

第2回 10月28日(金) 15:00~16:30 ②患者設定の説明

第3回 11月7日(月) 15:00~16:30 ③演技練習I

第4回 11月23日(水祝) 15:00~16:30 ④演技練習II

第5回 12月1日(木) 15:00~16:30 ⑤評価表記載・演技練習III

第6回 12月15日(木) 15:00~16:30 ⑥感想の伝え方・演技練習IV

メールで返信か、切り離さずこのままFAX返信してください03-5985-0506

SP養成コース 申し込み用紙 東京SP研究会 事務局宛

(記入戴いた個人情報はSP養成コースとSP活動の目的以外には一切利用致しません)

会場 東池袋 あうるすぽっと3階 会議室

ご芳名(フリガナ)

出席予定は口欄にチェックを入れてください

①10月10日 ②10月28日

③11月7日 ④11月23日

⑤12月1日 ⑥12月15日

ご連絡先(住所) 〒

最寄り駅名

(電話) _____ (FAX) _____

(携帯電話 緊急時) _____

(メールアドレス) _____

年齢()歳

当会への紹介者(あれば)()様

今までのご職業(簡単に) _____

現在のお仕事やボランティア活動あるいは趣味の活動(定期的な活動があれば)

SP活動が可能な曜日と時間帯 _____

SPに興味をもたれた理由(簡単に) _____